



各石像の丸数字は、
中面の地図内の
位置を示しています。

83 台町の層塔

長徳寺の墓地内東側にあり、七層の層塔からなる。高さ二七〇センチ。
※個人の墓地内にあり。

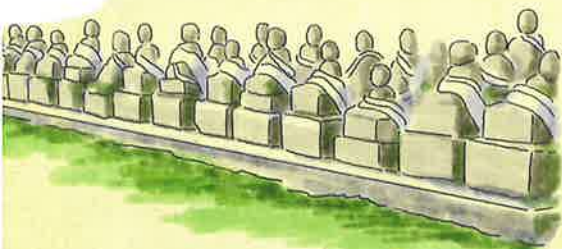
1 上萱丸の大日如来

寛文13年2月(1673年)建立、高さ60cm、幅30cm、厚さ15cmの舟型光背浮彫座像で掘りも良く整っている。



66 飯田中野生活改善センターの大師像

ここには江戸時代に神宮寺が建てられていたが現在は廃寺となっている。



谷田部市街地
活性化協議会

歩いて発見。

谷田部

街道めぐり

谷田部の

石仏・石塔。



全国津々浦々に点在する石仏・石塔。谷田部地域においても神社や寺院の創建に合わせて信仰の対象となった石仏・石塔が数多く見られ、谷田部町時代に編纂された「谷田部の石仏」によれば、谷田部市街地には117体の石像物が存在する。



67 台町医王寺の大師像

台町ほか町内の人々により造立され、像容の優れた大師像で、現在でも町内の人々によって清掃とお参りが行われている。





歩いて発見 谷田部 街道めぐり



地図内の数字について

00 各石像の数字は、地図内の位置を示しています。

00 写真やイラストにて紹介した石像の場所です。

00 誌面の構成上、紹介してないが、他にも石像があります。

内町八幡神社の境内に二基設置している。一基は万延2年9月(1861年)、もう一基は大正9年10月(1920年)に建立、どちらも「庚申塔」の文字が刻字されている。



医王寺

94 内町の石祠



八坂神社の境内にあつて、高さ68cm、幅37cmの大六天。石碑には文政4年4月吉日(1821年)の記銘があり、常陸国筑波郡谷田部施主証存となつており台石には元禄16年11月吉日(1706年)、石祠の方は古くつたものを新たに建て直したものの。



83 台町長徳寺の双体道祖神

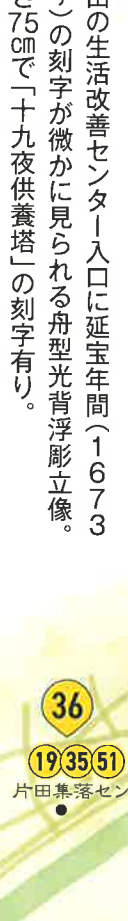
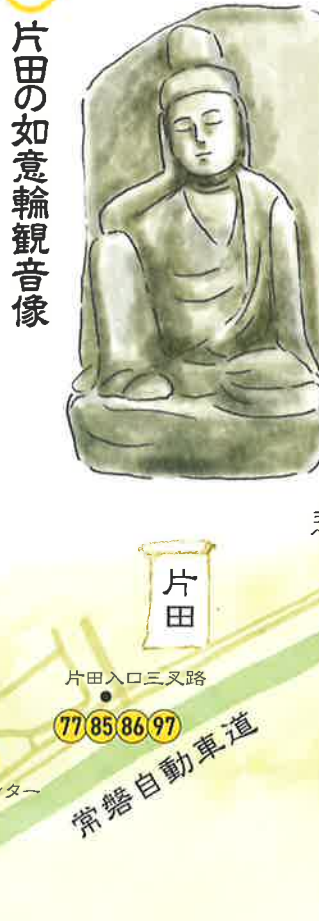
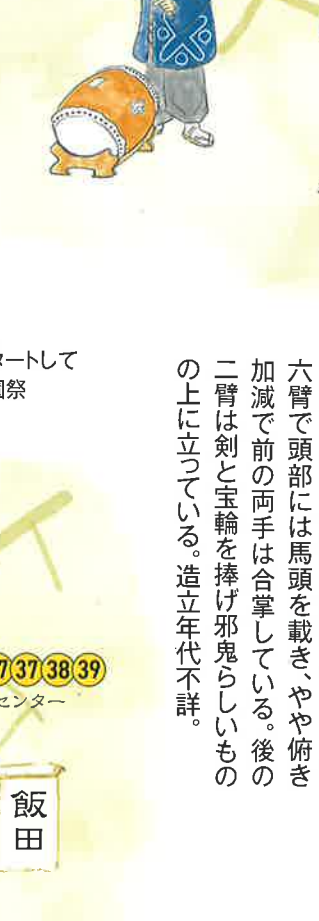
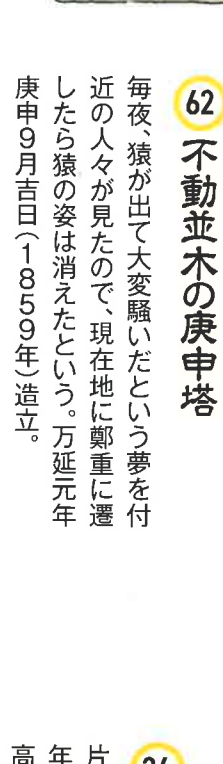
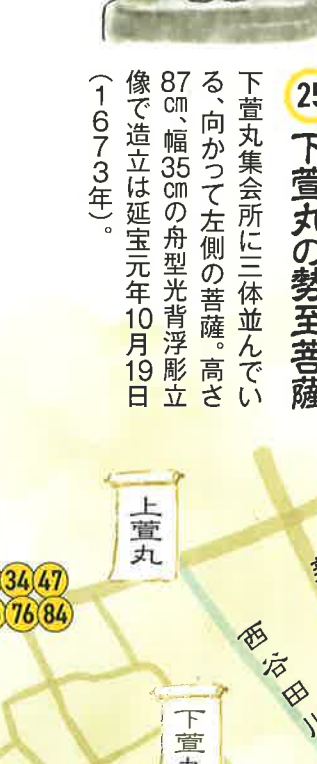
道祖神は道路脇や神社等の入口に道の神、旅行の神、病魔退散の神として祀られ、二人並んだ夫婦の形をとり合掌の姿で並んでいる。谷田部地区では僅かに一体で極めて貴重なものである。



64 内町の庚申塔



台町公会堂



33 羽成の馬頭観音像

羽成観音堂の後方中央の、高さ50cm、幅30cm、厚さ16cmの板駒型浮彫立像。二面六臂で頭部には馬頭を載ぎ、やや俯き加減で前の両手は合掌している。後の二臂は剣と宝輪を捧げ邪鬼らしいものの上に立っている。造立年代不詳。



36 片田の如意輪観音像

片田の生活改善センター入口に延宝年間(1673年)の刻字が微かに見られる舟型光背浮彫立像。高さ75cmで「十九夜供養塔」の刻字有り。



石像とは？



石像の種類について解説します。

如来



如来には阿弥陀如来、大日如来、薬師如来、釈迦如来などがある。法然上人により開かれた浄土宗で「南無阿弥陀仏」と唱えると極楽往生が約束される。谷田部地区では三体(台町、上萱丸、飯田中野)存在する。

菩薩



菩薩には、地藏菩薩、勢至菩薩、観世音菩薩、文殊菩薩、普賢菩薩、虚空蔵菩薩、弥勒菩薩があり、谷田部地区には地藏菩薩20、勢至菩薩2、馬頭観音4が存在する。

如意輪観音



地藏菩薩について多く造立され、谷田部地区には13基見られる。この観音は如意宝珠と宝輪とを持って人の願いを叶える観音で、宝珠は思いのままに財宝を出す珠、宝輪はこれを廻すと衆生の所へ転がり、仏の教を伝えてその苦しみを除くというもの。

庚申塔



谷田部地区には4基(不動並木、下萱丸、内町八幡神社、境田)存在する。中国の道教に日本の民間信仰が結合したもので、60日に1回巡ってくる庚申の晩に庚申塔の前で講中の人々が集まり家内安全、無病息災を祈った。

道祖神



記銘のある道祖神は6基(上萱丸、片田、台町浅間塚、台町長徳寺、境田、西町)。記銘のない石祠で「道陸神」と言われて道路脇や神社の入口、村の入口建てられ道の神、境を守る神、悪霊等の侵入を防ぐ神、子授けの神として信仰されたものもある。

◎編集後記

谷田部のモアイ像！

本編は、谷田部市街地に点在する石仏・石塔を紹介し、関心のある方が現地に足を運び谷田部の歴史に触れて貰いたいとの思いで編集しました。表紙の大師像群を編集仲間のY氏が、「規模は違えど谷田部のモアイ像にも見えるね」と。製作に関わった先人の思い思いの願いが込められた時代の空気に触れたひと時でした。

M記



石碑所在一覧表

今回、掲載していない石像を含め、全117体の石像の所在地をご確認いただけます。
※発行時は、準備中場合がございます。



谷田部市街地活性化協議会 facebookページ

<https://www.facebook.com/yatabe.tuskuba>

企画・発行 令和6年11月1日 編集・制作 谷田部市街地活性化協議会・(株)キャンパス協力 つくば市 都市計画部 周辺市街地振興課
参考文献 「谷田部町の石仏」谷田部町教育委員会 昭和62年3月31日発行

史実や資料のご提供、お待ちしております！

さらに詳しい情報は

谷田部郷土資料館



郷土の文化財、遺物、古文書の歴史資料などの展示をしています。谷田部藩細川氏の展示資料、江戸時代の発明家「飯塚伊賀七」が製作した木製和時計の復元品もあります。

つくば市谷田部4774-18
(谷田部交流センター3階)
tel.029-836-0139

◎開館時間 10:00~16:00

◎休館日

毎週月曜日・祝日・

年末年始(12月29日~1月3日)

◎料金 無料